

あした
明日へつなぐ学校図書館

学校図書館問題研究会は、全国の学校図書館に関わる職員や関心のある人たちの研究団体として、1985年に発足し、この熊本大会で30回という節目の時を迎えました。この間、学校司書の配置が広がる一方で、「専任・専門・正規」には程遠い状態です。また、教育や学校図書館を取り巻く環境は次々と変化しており、新たな課題も生じています。日々成長する子どもたちに学校図書館としてどう寄り添い支えていくか、私たちは実践を通して考え続けなければなりません。今大会も、学校図書館の働きにあらゆる方向からアプローチしていきます。

学図研に“お客さん”はいません。お互いに日ごろの工夫を披露し、問題点には知恵を出し合い、暑い熊本で熱く語り合しましょう。明日へつなぐために！

日時：**2014年8月3日(日)～5日(火)**

会場：■くまもと森都心（しんとしん）プラザ
 〒860-0047 熊本市西区春日1-14-1
 TEL 096-355-7400 FAX 096-355-7410
 URL <http://stsplaza.jp/>

■ホテルニューオータニ熊本
 〒860-0047 熊本市西区春日1-13-1
 TEL 096-326-1111 FAX 096-326-0800
 URL <http://www.newotani-kumamoto.co.jp/>

主催：学校図書館問題研究会 (<http://gakutoken.net/>)

後援：熊本県教育委員会・熊本市教育委員会・熊本県立図書館・
 熊本日日新聞社・熊本朝日放送・熊本県書店商業組合



©2010 熊本県くまモン#14274

申込期限：**6月30日(月) 必着** *参加費・申込方法などの詳細は最終面参照

プログラム：	3日 (日)	12:00	13:00	14:00	17:00	19:00	21:00
		受付(P)	開会行事 総会(P)	講演(P)	夕食 (P・N)	ナイター (P・N)	
4日 (月)	9:30	12:00	13:30	17:00	21:00		
	実践報告(P)	昼食(P・N)	分科会(P・N)			全体交流会 (N)	
5日 (火)	9:30	11:30	11:50	17:30		18:30	
	全体会 ・総会(P)	閉会 (P)		P=森都心プラザ N=ホテルニューオータニ熊本		くまモンタイム	

講演

教育を創る学校図書館のはたらきと担い手

～学図研30年の成果を踏まえて～ **塩見昇氏** (大阪教育大学名誉教授・日本図書館協会前理事長)

塩見昇氏は、長年にわたって学校図書館の研究を続けてこられ、学校教育における学校図書館の役割や学校図書館職員のあり方について提言されてきました。学校図書館は、これまでも教育のあり方によって求められる役割が変わったり、新たな役割が加わったりしてきました。一方で、いつも変わらずに「資料提供」を通して、子どもたちの学ぶよろこびや読む楽しさ、先生たちの教育活動を支えてきました。

近年、子どもたちの学びや育ちを豊かにするために、学校図書館への期待がますます高まっています。本講演では、学図研結成大会で「なぜ、いま学図研か」を語ってくださった塩見氏に、30年間の成果を踏まえつつ、その先にある学校図書館像と、それを担う学校図書館職員の専門性についてお話しいたします。

実践報告	学校図書館は「学校にある図書館」	鹿野恵子 さん (岡山市立御南小学校 学校司書)
<p>学校図書館は「学校の中にある図書館」です。子どもたちや先生たちの「読む」「学ぶ」「語り合う」「憩う」「創造する」……そういったさまざまな活動を、学校司書は日常的で徹底した資料提供を通して支えています。そんな学校図書館の姿を、これまで勤務してきた岡山市立小・中学校での実践から伝えます。</p>		
実践報告Ⅱ	「ひろば」論再考	～サイレントニーズを未来のリクエストに育てるために～ 松田ユリ子 さん (神奈川県立田奈高校 学校司書)
<p>これまで勤務してきた神奈川県立高校5校は、生徒の状況もニーズもさまざまです。学校司書として、その時々々の生徒、教職員、地域の方々とのように協働し、生徒の学びを育むために取り組んできたかについて報告します。また、生徒の学びにおける学校図書館の役割について、特に学校図書館の「ひろば」の機能を中心に、実践を通して見えてきたこととお話します。</p>		
ライター		
A : 学校図書館とマンガの付き合い方 ～マンガはどうしてる？～ (担当：福島)		
<p>メディアとしてジャンルを確立しているマンガですが、学校図書館に入れるのをためらうことはありませんか？ どのように選書され利用されているか、実際の事例をもとにマンガとの付き合い方を考えましょう。参加の方は事前に簡単なアンケートがあります。</p>		
B : 学校図書館支援の小部屋 【定員 20 名】 (担当：東京)		
<p>学校図書館を周辺から支える人たちと学校司書の交流ライター。支援センターや公共図書館など、支援の手は増えていると思いますが、本当に必要な支援ってどんなことでしょうか？ 支援する側される側、それぞれのホンネが出せたらいいですね！</p>		
C : 豆本&プチ紙工作講座 【定員 30 名】 (担当：長野)		
<p>読書週間や図書の日、季節の装飾・イベントに使える工作を、紙工作を中心に7種ほど用意しました。特に豆本は図書館ならではの作品です。※材料費 300 円。</p>		
D : 国立国会図書館レファレンス協同データベース (レファ協) について知ろう！ (担当：京都・神奈川)		
<p>レファ協って何？ 学校図書館での活用は？ レファ協事務局の概要説明、参加している学校図書館の活用事例報告等を通して紹介します。簡単な事前課題をもとにしたミニワークショップやお楽しみ企画も予定しています。</p>		
E : 殿 (との) の部屋 「よきにはからえ」 ～学図研なんでも講座～ (担当：兵庫)		
<p>全国大会皆勤の“兵庫の殿”こと二宮博行さんが、学図研の結成当時の話と、その目指してきたものを語ります。学図研が初めての人も長い人も、ざっくばらんにおしゃべりしましょう。お悩み相談も受けつけます。</p>		
F : 「人」の配置に関する情報交換 (担当：職員問題を考えるプロジェクトチーム)		
<p>近年、地方財政措置や、学校図書館法改正の動きなど、学校司書をとりまく状況に大きな動きがあります。各自治体でどのような変化が起こっているか、情報交換します。(なお状況により内容が変わる可能性があります)</p>		
G : POP を作ろう!! (担当：長崎)		
<p>POP をいざ作ってみようと思っても、絵が上手に描けない、作る時間がない、コツがわからない……そんなことはありませんか？ そんなお悩みを解決します！ ※材料費 100 円 ※紹介したい本、マジック・ペン・はさみ・のり・定規などをご持参ください。</p>		
H : ブラックパネルシアターの部屋 ～おはなしの部屋～ (担当：熊本)		
<p>熊本にゆかりの小泉八雲の怪談をブラックシアターで語ります。暑い夏に背すじの寒くなるようなおはなしをどうぞ。大人も子どももいつもと違う空間をお楽しみください。「故郷」「ゆうれい滝の伝説」「白鳥の湖」「クリスマスのおはなし」他。</p>		
I : 大人の遠足 ①ひごまるコース【定員 15 名】 ②わさもんコース【定員 15 名】 (担当：熊本)		
<p>清正公や細川藩が造った城下町、熊本。「ひごまるコース」は、解説付の熊本城散策。「わさもんコース」は、風情残る町屋の路地を歩きます。話で腹一杯になるか、歩きすぎて空腹になるか……それはあなたの足次第。先着各 15 名です。</p>		

参加申込書にて、大会公式グッズの「くまモンクリップボード」の予約が出来ます。

分科会

1：先生のくどき方 【定員 40 名】

(担当：埼玉)

授業で図書館を使ってもらいたいと思っても、先生にどう働きかけたらいいか困っていませんか？ 埼玉の若手司書が、ベテラン司書にインタビューして作成したヒント集をもとに、中学・高校での「先生のくどき方」をグループ討議します。より良い方法を一緒に考えましょう。

2：学校図書館にとっての「図書館の自由」を考える

(担当：岡山)

教育の自由さえも危ぶまれる昨今。学校図書館が子どもたちの知る権利を保障する場として機能するため、「図書館の自由」を今一度見つめ直し、学校図書館・学校司書の果たすべき役割を考えていきましょう。『はだしのゲン』閲覧制限問題も含めたこれまでの事例を振り返りつつ、現場でどのように活かしていくか議論します。

3：貸出を伸ばす ～貸出の「量」と「質」の変化について考える～

(担当：神奈川)

学図研では貸出を伸ばすことを目標に実践してきましたが、その中身についてはあまり議論されませんでした。この分科会では、貸し出された資料の分類と利用状況の分析から、貸出の「量」と「質」とその変化について考えたいと思います。私たちはこれからどのように貸出を伸ばしていくのか、じっくり話し合います！

4：本と子どもをつなぐ技あれこれ

(担当：兵庫)

子どもたちを本の世界に誘うさまざまな「技」について話し合ってみませんか？ アニメーション実演や、ブックトーク初心者が先輩司書からアドバイスを受けてプログラムを練り直す過程を公開する「ブックトーク Before & After」も交え、どんな場面でどんな技が使えるか探っていきましょう。

5：科学読み物を蔵書構築に活かす ～『りかぼん 授業で使える理科の本』を土台にして～

(担当：東京)

なかなか学校図書館の活用が進まない教科「理科」。この分科会は、①『りかぼん 授業で使える理科の本』が出版されるまでのあれこれ ②理科の授業での学校図書館活用事例 ③昆虫の魅力を伝える本を多数出されている写真家新開孝さんの講演、と活用のヒントが盛りだくさん！ 蔵書構築も含めて、皆さんで考えましょう。

6：学校図書館にラノベとの出会いを求めるのは間違っているだろうか。

(担当：岐阜)

出版不況のなか売り上げが伸び、学校図書館でも存在感を増すライトノベル。最大レーベルである電撃文庫創設から 20 年、多様なラノベへの要求にどう応えたらいいのかと悩む方は多いはず。生徒とラノベをつなぐ活動が評判の熊本近代文学館の鶴本市朗さんによる講演と、ラノベ判定の演習等を通して、学校図書館としてのスタンスを考えてみます。

7：あなたの学校図書館、変えるなら今でしょ！

(担当：鹿児島)

図書館改造のノウハウを共有し多くの改造を実現してきた鹿児島。今回は少ない予算で徐々に改造した高校を例に、特に入口、カウンター、掲示板を取り上げて、進め方のポイントを紹介します。あなたの学校にもきっと応用できるはず！ ワークシートを使って、まず実現したい点は何か、どうすればいいのか一緒に考えましょう。写真と館内見取図をご持参ください。

8：パネルディスカッション 「書店と図書館、共存の未来に向けて」

(担当：島根・熊本)

〈パネリスト〉 ●齋藤明彦さん(鳥取県地域振興部理事監兼東部振興監・元鳥取県立図書館長) ●田中榮博さん(くまもと森都心プラザ図書館館長) ●長崎晴作さん(熊本県書店商業組合理事長) ●小林美紀子さん(学校司書)
〈コーディネーター〉 藤坂康司さん(借成社)

学校図書館の本、どのように選んでいますか？ 毎週来てくれる本屋さんが近くにあったら相談できるのに、1軒、また1軒と姿を消してゆく。そんなジリ貧の状態を打開すべく取り組んでいる自治体があります。その報告を交えながら、学校図書館と書店が共存する方法を探るパネルディスカッションです。

9：学校司書の法制化を考える

(担当：事務局)

専門性も問わない、専任・正規の保証もない学校司書の法制化は、不十分な現状を迫認するばかりか、後退をも招くおそれがあります。「学校図書館担当職員の役割及びその資質の向上に関する調査研究協力者会議」の報告にも触れながら、学校図書館と学校司書の役割の面から、法制化の課題と今後のとりくみについて考えます。

申込方法

6月30日までに **インターネット** または **FAX**(同封の申込書に必要事項をご記入ください) でお申し込みください。**今回、確認書は郵送いたしません。お申し込みの方には、7月13日までにメールを送信させていただきます。**インターネットでお申し込みの方はいつでも申し込み状況をご確認いただけます。どちらで申し込まれた方も、指定口座に**7月22日までに**参加費・宿泊費等を振り込んでください。

申込先: 日本旅行「学図研第30回大会」係 担当: 白野(しらの)宏倫

URL : <http://v3.apollon.nta.co.jp/gakutoken2014/>

FAX : 096-322-7453

〒860-0807 熊本市中央区下通1丁目7-18 TEL : 096-354-4488

振込先銀行名: みずほ銀行 支店名: 十五号支店 口座番号: 普通 3106555 口座名: (株)日本旅行

学図研公式HPから
アクセスできます

「がくとけん」で検索を!
<http://gakutoken.net/>

申込期間 : 2014年5月1日(木)~6月30日(月) (保育の申込は 6月20日 必着)

※ 期限を過ぎた場合は、お断りすることがあります。お早めにお申し込みください。

- ①**参加費** … 全日程参加(会員) 5,000円 (大会報告集『がくと』代はずでに年会費に含まれています)
全日程参加(非会員) 5,500円
一日のみ参加 3,000円
全日程参加(学生) 2,000円
一日のみ参加(学生) 1,500円
- ※非会員で大会報告集『がくと』希望の場合は申し込み欄にご記入ください(送料込み1,000円)。

②**宿泊および宿泊費** … お申込先着順にて受付いたします。

※参加申込書及び申込書裏面をご参照のうえお申し込みください。

③**キャンセル料** … キャンセル日によってはキャンセル料が必要になります。申込書裏面をご参照ください。

④**分科会・ナイター** … 分科会・ナイターは必ず第2希望まで記入してください。申込多数の場合は、ご希望に添えないことがあります。

⑤**締切後の宿泊** … 締切を過ぎた宿泊申込には応えられない場合があります。お早めにお申し込みください。

⑥**保育** … 対象: 3歳以上12歳以下まで(大人の方は同伴することはできません)

時間: 8月3日(日) 12:30~17:30

8月4日(月) 9:20~12:00、13:00~17:00

8月5日(火) 9:20~12:30

費用: 子ども1人につき 一律5,500円(参加日数に関わらず。保険・おやつ込み)

※3日(ナイター時) 夜間保育(18:50~21:10)を追加する場合、子ども1人につき別途3,200円。

※8月4日(月)の昼食代は別途徴収いたします。

申込: FAXでお申し込みの場合は、参加申込の所定の欄に、お子様の氏名・年齢を記入して**6月20日(金)まで**にお申し込みください。後日、大会事務局より保育に関するアンケートを送付させていただきます。

大会事務局 山形 あき子 (熊本県立図書館 司書)

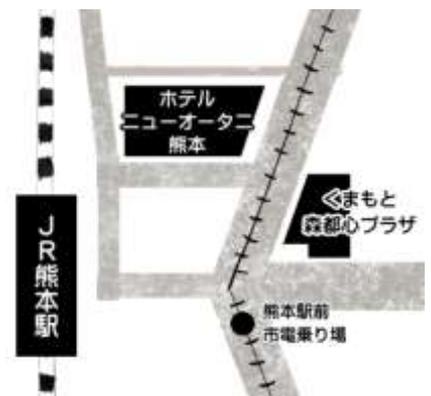
TEL: 080-3975-2248

E-mail: akilady1000akilady@yahoo.co.jp

会場アクセス

くまもと森都心プラザホームページの「交通アクセス」ページ
<http://stsplaza.jp/information/access.html> をご参照ください。

- 【自家用車】熊本ICより約40分 益城熊本空港ICより約40分
- 【飛行機】阿蘇くまもと空港からリムジンバス利用で約50分(熊本駅前下車)
- 【JR】JR熊本駅白川口(東口)正面
- 【バス】熊本駅前バス停下車(交通センターからの所要時間約10分)
- 【市電】熊本市電A系統(田崎橋~健軍町)熊本駅前電停下車



お子様の宿泊や食事、その他の詳細は学図研公式HPから「熊本大会」へアクセスしてご覧ください。